

令和5年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子
 学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	職員のほぼ全員が社会人教職員としてのマナーと自覚を持って行動している。今後も教職員同士の連携と協調性を保育に活かしていきたい。	A	職員一人ひとりの表情が明るく保護者の評判がよく、全体の印象がよい。	A
保護者への対応	個人情報を適正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報の取り扱いに遵守している。保護者への意見は謙虚に受け止め話を聞くようにしている。挨拶や声掛け、些細な疑問にも丁寧に対応し信頼関係を保つようにしている。	A	個人情報の取り扱いを適正にしている。どの保護者に対しても公平に対応をしている。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができるか。	地域の小学校との交流は毎年少しですが持つようにしている。公民館まつりの作品の展示や消防署との消火訓練などを通じて連携をしている。	B	地域との交流も積極的にしている。地域の住民のご意見も真摯に受けて止めていて誠実に対応しているのが感じられる。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができるか。	研修の種類も豊富にご案内があるが、保育教諭は職員の配置基準が定まっているため、1回につきひとりの研修しか参加できないので、研修に参加した人の報告で全員に周知を行なっている。	B	園外研修だけでなく、園内研修を多く実施されているようである。問題点を職員同士で挙げ、園全体の意識を更に高めていけるとよい。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができるか。	事故防止に努めながら、乳幼児の発達や特性を理解し、日常生活や遊びの中で幼児教育や保育の質の向上につなげている。	B	幼児教育や保育内容がより充実したものとなるようより努めてもらいたい。	A
	総合	昨今の不適切保育等のニュースを踏まえて、日々保育のあり方話し合い、安全で優しい保育を行えるよう多方面から対策を考えている。	B	保育園、こども園の事故のニュースが相次ぐ中、きなりこどもえんの先生方は研修に参加したり、事故防止に努め安全な保育をしていると感じる。	B